

(対象期間：2022/8/15～2022/8/19)

【株式市場】 ジャカルタ総合指数の推移 (2016年1月4日～2022年8月19日)

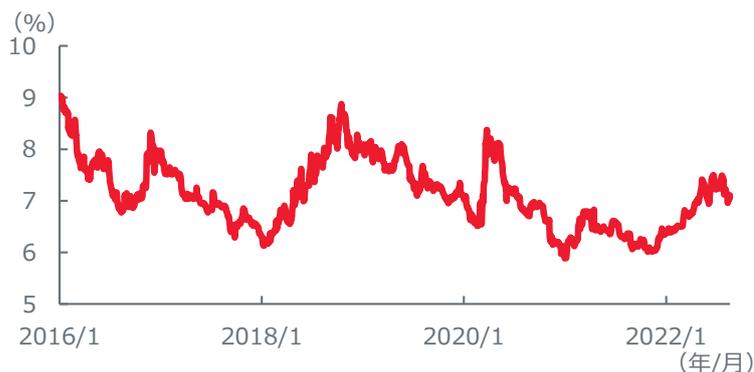


【株式市場】

15日は中国の予想外の政策金利引下げを受けて、中国景気への懸念が強まり、アジアの多くの株式市場が軟調となる中インドネシア株式市場も下落しました。16日にジョコ大統領が2023年度予算案を発表し、経済成長を支援しつつ支出抑制を図り、財政赤字は対GDP比2.85%に抑制する見通しを示しました。18日は7月の米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨で金融引き締めペースへの懸念が後退したことから上昇しました。19日も外国人投資家の資金流入が続き、更に上昇しました。インドネシア株式市場は前週末比上昇しました。

2022/8/12	2022/8/19	変化率
7,129.28	7,172.43	+0.61%

【債券市場】 インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2022年8月19日)



【債券市場】

15日は翌日の国債入札を前にして利回りは上昇（価格は下落）しました。16日の国債入札では特に中期債への強い需要が見られ、応募額は2月以来最高となりました。好調な入札結果を受けて、国債利回りは低下しました。18日は引き続き外国人投資家からの資金フローがみられましたが、インドネシア中央銀行（BI）による国債売りなどを背景に利回りはやや上昇しました。19日は、米国の金利上昇やジョコ大統領がニッケルに輸出税を課す可能性があるとの報道を受けてルピアが下落したことなどから、利回りは上昇しました。10年国債利回りは前週末比上昇しました。

2022/8/12	2022/8/19	変化幅
6.982	7.108	+0.126

【為替市場】 インドネシアルピアの対円レートの推移 (2016年1月1日～2022年8月19日)



【為替市場】

16日の2023年度の予算案演説で財政の健全化が示されましたが、為替市場への影響は限定的でした。18日、パーBI総裁はルピアについて世界で最も安定した通貨の一つであると述べ、BIはインフレを抑制し経済成長を促進するために為替レートの安定性を常に維持すると述べました。週末にかけて、米金利上昇を受けた米ドル高や、ジョコ大統領がニッケル輸出税を検討との報道を受けて、ルピアは対米ドルで更に下落しました。ルピアは前週末比対米ドルで下落、対円では円安の進行により上昇しました。

2022/8/12	2022/8/19	変化率
0.9109	0.9223	+1.25%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。